

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人はとやま環境フォーラム

事業名	熊井の森・里山の味覚満喫食育事業																		
助成枠の種類	特定分野事業分野指定枠（みどりと川の再生）																		
1. 事業の目的	鳩山町北部地区（熊井等）の豊かな里地里山を保全し、その恵みを活かした里山でのなりわい創出に向けた事業																		
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	鳩山町北部地区の山林（熊井の森）とため池用水流域をフィールドに事業展開することで、里地里山の大切さを啓発し、なりわい創出にむけた食育学習・企画立案ノウハウの蓄積																		
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<p>○ 味覚満喫1日ラリーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：令和3年10月23日（日） ・参加者：65人（大人42人、小人23人） ・協力者等：地元生産者協力者3人、イベント運営協力者延べ13人、駐車場提供者（個人1、団体1） ・食育テキスト：100部作成 <p>○ 写真展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間：1月～3月 ・場所：アトレ川越（1月24日）、鳩山町泉井体験交流館（2月5日～3月5日） <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>イベントポスター掲示</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>イベント情報を「じゃらん」にアップ</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>食育事業協力農家に取材・打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>23日 味覚満喫1日ラリー開催</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>写真展準備</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>18日 イベント参加者写真展示（鳩山町多世代活動交流センター）</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>24日 活動報告ポスター展示（アトレ川越）</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>5日～3月5日（鳩山町泉井体験交流館で写真展）</td> </tr> </tbody> </table>	時期	内容	7月	イベントポスター掲示	8月	イベント情報を「じゃらん」にアップ	9月	食育事業協力農家に取材・打ち合わせ	10月	23日 味覚満喫1日ラリー開催	11月	写真展準備	12月	18日 イベント参加者写真展示（鳩山町多世代活動交流センター）	1月	24日 活動報告ポスター展示（アトレ川越）	2月	5日～3月5日（鳩山町泉井体験交流館で写真展）
時期	内容																		
7月	イベントポスター掲示																		
8月	イベント情報を「じゃらん」にアップ																		
9月	食育事業協力農家に取材・打ち合わせ																		
10月	23日 味覚満喫1日ラリー開催																		
11月	写真展準備																		
12月	18日 イベント参加者写真展示（鳩山町多世代活動交流センター）																		
1月	24日 活動報告ポスター展示（アトレ川越）																		
2月	5日～3月5日（鳩山町泉井体験交流館で写真展）																		

	<p>○ 広報実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベントポスターを町内公共掲示板に掲示 ・ イベント情報を「じゃらん」サイトで全国広報 ・ 鳩山町広報誌「はとやま」にイベント情報掲載 ・ 近郊住宅地(坂戸市) にチラシをポスティング
<p>4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請当初、自立型 NPO 活動に向けた里山での味覚体験ツアーの初期的試みとして、参加者 30 人(8 家族) 程度を想定していた。同企画の訴求度(都市近郊での味覚&自然体験の需要)を探り、当団体の事業運営能力の程度を知るため、全国情報発信サイト「じゃらん」にイベント情報をアップしたところ、多数の予約があり、結果的に参加者 65 人(大人 42 人、小人 23 人)と事業規模が膨らんだ。しかし、地元の協力もあり無事にイベントが終了し、同企画の集客力・運営能力に一定程度の感触を得ることが出来た。 ・ アンケートで、35 枚の回答を得た。同種企画の次回開催に向けて貴重な意見をいただくことができた。
<p>5. 費用面での工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者数増に伴い事業支出は増えたが、増えた分は概ね参加料でまかなうことが出来た。 ・ 参加者増に伴い、交通安全対策・会場設営等の事前の受け入れ体制の徹底が必要となったが、スタッフ増員に地元の方々のご協力があり、収支に支障は生じなかった。
<p>6. 地域社会への還元について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芋ほり・柿もぎ・柚もぎなどの生産者が単なる”出荷者”ではなく、地域文化を絡めた”食育伝道者”となることで、付加価値を高めていけば、里山の味覚体験参加者を増やせる可能性を実感してもらえた。 ・ 主催した環境保全団体としても、里山保全だけでなく、里山の”なりわい”を地域と一緒に創出していく足掛かりを作り出すことが出来た。
<p>7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか</p>	<p>今回のテスト企画では”1日ツアー”と銘打ち、すべての企画を1日で実施した。来年度は年3～4回の単独企画に分けて、経費軽減と労力の効率化を図り、無理のない、継続性のある事業に育ていきたい。</p>